

新沖縄県行政運営プログラム 令和6年度推進状況・令和7年度実施計画 概要(案)

< 2025/06/ >
総務部行政管理課

1 新沖縄県行政運営プログラム概要

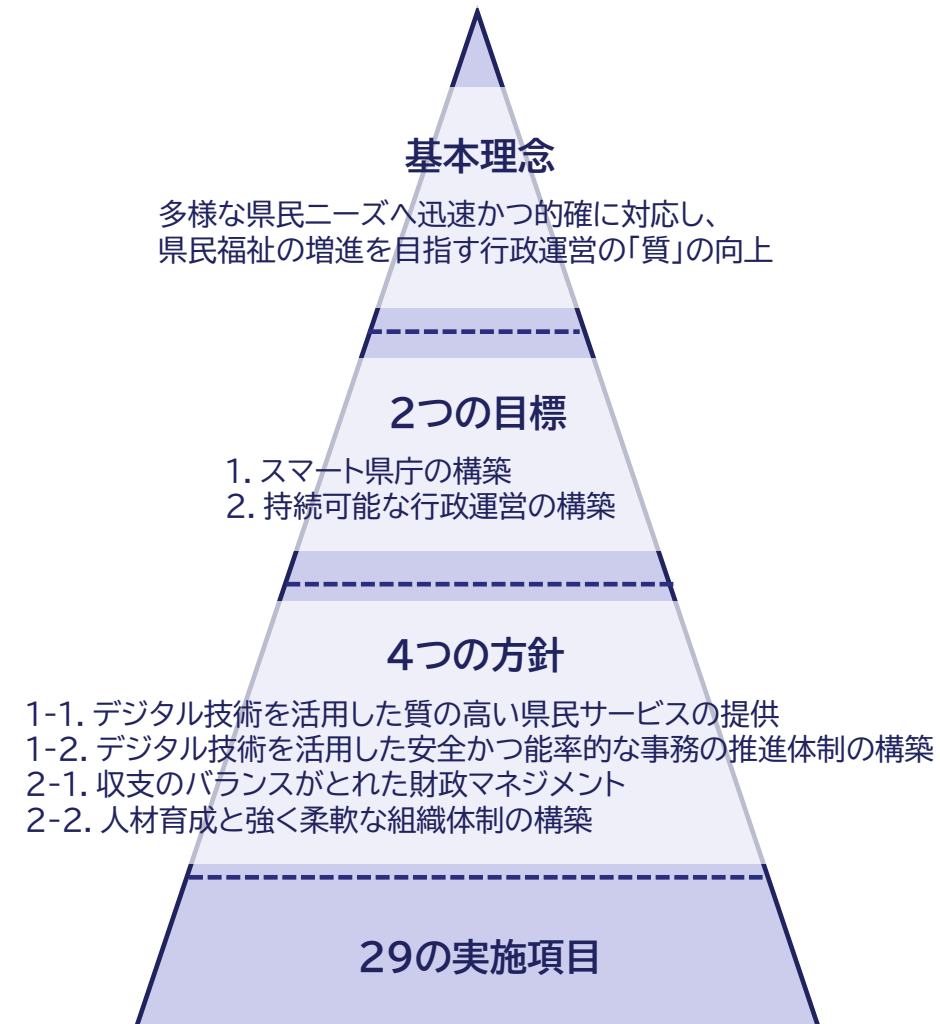
<目的・性質>

- 本プログラムは、沖縄21世紀ビジョンの実現に向けて、行政の「質」の向上を重視し、常に県民本位の行政運営を推進することにより、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画等を推進するプラットフォーム(基盤)としての役割を担うべく、令和5年3月に策定。実施期間は令和5年度から令和8年度の4年間。
- 本プログラムは、多様な県民ニーズへ迅速かつ的確に対応し、県民福祉の増進を目指す行政運営の「質」の向上を基本理念とし、スマート県庁の構築及び持続可能な行政運営の構築の2つの目標を掲げる。
- 上記の理念、目標のもと、デジタル技術を活用した質の高い県民サービスの提供、安全かつ能率的な事務の推進体制の構築、収支のバランスがとれた財政マネジメント、人材育成と強く柔軟な組織体制の整備に向けた取組を推進する。

<推進体制等>

- 知事を本部長とする行財政改革推進本部を中心に、全庁をあげて取組を推進する。
- 推進状況の検証結果等については、外部有識者で構成する行財政改革懇話会に報告し、助言を得る。また、県ホームページ等で県民に公表する。
- 検証結果を踏まえ、多様化する行政需要に的確に対応する柔軟な組織運営、効率的かつ重点的な予算配分に努める。

新沖縄県行政運営プログラム



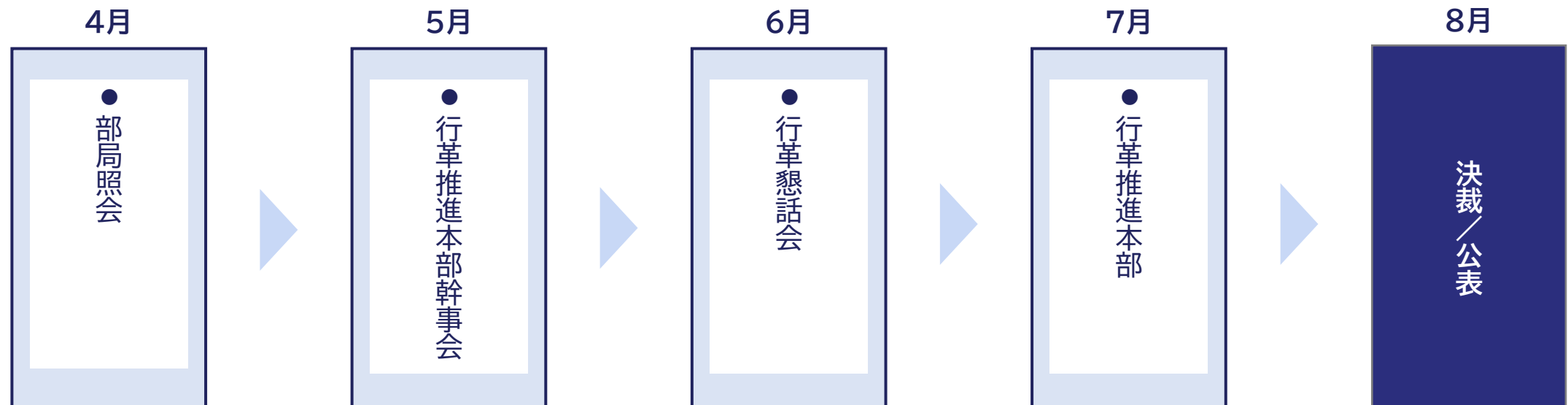
2 推進状況の検証・実施計画の策定について

<概要>

- 本プログラムでは、毎年度、実施項目についてPDCAサイクルによる推進状況の検証を行うほか、柔軟に実施計画を見直すとしている。
- 今回、令和6年度における実績の検証及び令和7年度の実施計画の策定を進める。

<進め方>

- 実施項目の推進状況については、所管課において、以下の基準により総合的に判定する。
 - └ 順 調：実施計画どおり又は前倒しで取組を推進している(90%以上)
 - └ やや遅れ：実施計画と比較して若干の遅れがある(概ね60%～90%未満)
 - └ 大幅遅れ：実施計画と比較して大幅に遅れがある(概ね60%未満)
- 行財政推進本部幹事会・行財政改革推進本部での議論、行財政改革懇話会での有識者意見の聴取を経て、検証結果を取りまとめるとともに、実施計画を策定する。これらについては、県ホームページにおいて県民向けに公表する。



3 令和6年度推進状況 | 全体概要

<概要>

- 今回の検証においては、令和6年度における推進状況について、本プログラムに掲載する29の実施項目のうち、推進状況が「順調」となったものは22件であり、全体の75.9%を占めていることから、令和6年度における取組は総じて順調であったものと判断できる。
- しかしながら、推進状況が「やや遅れ」となった実施項目が5件、全体の17.2%、「大幅遅れ」となった実施項目が2件、全体の6.9%となっていることから、改善を図る必要がある。
- 改善に向けては、今回の検証において把握した課題等を踏まえ、今後の取組の方向性を整理し、令和7年度実施計画への反映を行ったところであり、各取組項目を所管する部局等において、主体的な取組のもと、改善策の実施を図るとともに、引き続き、PDCAサイクルによる検証等を継続していくことで、本プログラムの着実な推進を図っていく。

目標	順調		やや遅れ		大幅遅れ		合計	
	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合
1. スマート県庁の構築	8	89%	1	11.1%	0	0.0%	9	100%
1-1 デジタル技術を活用した質の高い 県民サービスの提供	4	80%	1	20.0%	0	0.0%	5	100%
1-2 デジタル技術を活用した安全かつ能率的な 事務の推進体制の構築	4	100%	0	0.0%	0	0.0%	4	100%
2. 持続可能な行政運営の構築	14	70.0%	4	20.0%	2	10.0%	20	100%
2-1 収支のバランスがとれた財政マネジメント	8	66.7%	3	25.0%	1	8.3%	12	100%
2-2 人材育成と強く柔軟な組織体制の整備	6	75.0%	1	12.5%	1	12.5%	8	100%
合 計	22	75.9%	5	17.2%	2	6.9%	29	100%

4 令和6年度推進状況 | 推進状況別一覧

<「順調」であった実施項目>

項目番号	項目名
1	情報の伝わり方を重視した広報の確立
2	オープンデータ利活用に向けたデータの充実
3	収納手続のオンライン化
5	データを活用した政策(事業)立案や業務執行(EBPMの推進)
6	多様な働き方に対応した職場環境基盤整備
7	財務会計に関するシステムの電子決裁対応
8	業務プロセスの見直し
8-2	アナログ規制の点検・見直し
11-1	歳入金の適切な管理(未収金の解消)
11-2	歳入金の適切な管理(財産の有効活用)
11-3	歳入金の適切な管理(使用料及び手数料の見直し)
12	総合的な公債管理の推進
13	県単補助金の見直し
14	沖縄県公共施設等総合管理計画に基づく県有財産の適正な管理
17	PPP/PFIの推進
18	ふるさと納税制度等を利用したクラウドファンディングの推進
19	組織の見直し及び定員の適正な管理
20	公社等への適切な指導及び支援内容等の公表
21	働き方改革・女性活躍促進と研修等を活用した人材育成
22	職員の健康確保
23	教育委員会における働き方改革・女性活躍推進と職場環境の整備
25-2	業務継続計画の整備(業務継続計画の見直し(災害BCP))

<「やや遅れ」「大幅遅れ」であった実施項目>

項目番号	項目名	推進状況
4	電子申請手続の拡充	やや遅れ
9	県税収入の確保	やや遅れ
10	観光振興を目的とする新税の導入	やや遅れ
15	特別会計事業の適正な運営	やや遅れ
16	県立病院の経営強化	大幅遅れ
24	内部統制機能の強化	大幅遅れ
25-2	業務継続計画の整備(業務継続計画の見直し(新型インフルエンザ等感染症BCP))	やや遅れ

5 令和7年度実施計画 | 主な実施項目

<実施項目2>

オープンデータ利活用に向けたデータの充実

- 国の自治体標準オープンデータセット※に該当するデータ、その他のデータの公開に向けて関係所属との調整を進める。また、CSVなどの機械判読性の高いファイル形式でのデータ公開の推進の他、公開済みデータの適時・適切な更新を進めることで、データの質の向上を図る。

※ 公共施設一覧、文化財一覧、子育て施設一覧 等

● 主な成果指標

- ・ 自治体標準オープンデータセットに該当するデータの公開数(累計)
- ・ 目標 11件 (R6年度実績 9件)



<実施項目8>

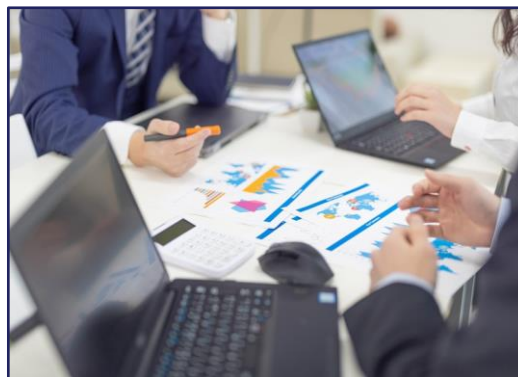
業務プロセスの見直し

- 令和6年度／過年度に選定した業務※の見直しに取り組む他、各所属から提案を募るなどして、次年度から新たに見直し対象とする業務の選定を行う。また、見直し対象業務から抽出した業務をテーマに、個別課題解決のためのワークショップ型研修を開催する。

※ 令和6年度選定業務、過年度に選定し引続き取り組む業務 (例:生成AI活用、会議のペーパーレス化)

● 主な成果指標

- ・ 業務プロセスの見直し件数(累計)
- ・ 目標 22件 (R6年度実績 17件)



<実施項目17>

PPP／PFIの推進

- PPP／PFI推進監及び全庁的な推進体制のもと、課題やノウハウの共有、先進事例の横展開を図る。また、各事業所管課に対し、PPP／PFI活用に係る伴走支援を行う他、活用を検討している案件の情報を県HP上で見える化することで、民間事業者の参画を促進する。

● 主な成果指標

- ・ PPP／PFI導入検討案件数(累計)
- ・ 目標 14件 (R6年度実績 12件)

